

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和7年9月号 No.220

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

都市木あいち協議会「技術者育成講座」がスタート

環境都市実現のための木造化・木質化推進あいち協議会（西垣洋一会長＝（一社）愛知県木材組合連合会会長）主催の、2025年度「非住宅木造建築技術者育成講習」がこのほどスタートしました。協議会は2020年2月に県木連と建築士会により設立され、その活動の一つである育成講座も6年目を迎えました。現地研修を含む全13回の講座が来年1月まで続きます。

去る8月2日（土）には、オープニング企画として㈱モリアゲ代表の長野麻子氏（元林野庁木材利用課長）による講演会が名古屋木材会館で開催され、講座の受講生他、名古屋木材組合始め木材業界、建築・設計、行政など約40人が参加しました。

長野氏は、協議会設立の際に当時林野庁木材利用課長として記念講演を、その後も昨年11月に名古屋能楽堂で開催された設立5年記念シンポジウムでは鼎談のコーディネーターを務めるなど協議会との縁は深く、今回の講演会では西垣会長が挨拶の中で、協議会顧問就任のオファーをしたところその場で快諾され、会場を沸かせました。

「ウッドチェンジで日本の森をモリアゲよう！」という約2時間の講演は、日本の森と木の歴史に始まり、林業の現状と課題に触れながら、「伐って、使って、植えて育てる」という森の持続的なサイクルをうまく回すことがいかに重要かを分かりやすく説明されました。また全国のウッドチェンジの事例やご自身が関わる森づくり等の取組を紹介しながら、様々な木材の利用を通じて持続可能な社会へと転換していく行動が、林業の活性化や地域経済の発展はもとよりカーボンニュートラルの実現に大きく貢献することを強く語られました。

今後の協議会活動を一緒になってモリアゲいただけるものと期待しています。



「木材産業のゼロ災害を目指そう！」～製材・木材加工業における安全研修会の開催～

（一社）愛知県木材組合連合会（西垣洋一会長）は、8月20日午後から名古屋木材会館において、一般社団法人全国木材組合連合会との連携による令和7年度「作業安全強化促進支援事業の地域研修会」を開催し、製材やプレカット等の加工に関連する木材関係者、行政関係者等約50人が参加しました。これは、依然として木材・木製品製造業における死傷災害の発生が高い状況（R5の死傷年千人率は、全産業2.4人に対し木材・木製品製造業11.9人と約4.4倍）が続いていることを踏まえ、労働安全対策のさらなる強化を目的に開催したもので、研修会冒頭で西垣会長は、自社の取り組みを紹介しつつ「安全はすべてに優先する」と挨拶されました。

本研修ではお二方が講師を務め、一人目の国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所 主任研究員 松田陽介氏は、木材産業における労働災害の状況と、昨年度林野庁の事業で作成された「木材産業における安全診断・評価マニュアル」を活用した作業安全向上について説明されました。このマニュアルは、フローチャート方式で特別な知識がなくても事業所の安全診断が実施でき、評価結果を踏まえて改善の検討等ができるものです。

二人目の講師は、藤本労働安全コンサルタント事務所 代表 藤本吟蔵氏で、安全の先にある「無事に家に帰る」という最も大切で普遍的な目標のために、プロが学ぶべき実践的安全対策についての講義でした。講義は「製材工場での災害事案と防止」、「ヒューマンエラーと指差呼称」の大きく2つの観点で話をされました。特に「人間は失敗をするもの」という前提で、まずは人間の特性を理解することが大切であり、心理学の観点からヒューマンエラーを解説され、その発生原因をもとに「指差呼称」の重要性を強く訴えられました。

講師の熱心な講義に参加者も真剣に聞き入り、2時間半に及ぶ充実した研修となりました。終了後には参加者に受講票が渡されましたが、口々に良い研修会だったとの声が聞かれました。

今回の研修会をとおして、参加者が作業現場での安全強化の重要性を再認識し、講義で紹介のあった対策を実践するとともに、企業全体で安全文化を形成して、仲間同士での事故防止意識を一層高めていただくよう願っています。

なお、翌21日には、「作業安全強化促進支援事業」の一環で県内の製材工場の安全診断が行われました。西垣林業㈱の協力を得て、前日の研修会で説明のあった「木材産業における安全診断・評価マニュアル」を用いて同社豊田工場を会場に実施しました。午前10時から始まった安全診断には、工場から河原工場長始め3名、(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所 松田氏、全木連及び県木連職員3名、行政関係者3名の計10名が出席し、約1時間のヒアリング後、工場の安全パトロールを行い、12時に終了となりました。

講評の結果は、「清掃が行き届いており、安全関係のサイン・明示がしっかりしている」「毎月開催する安全衛生委員会の取り組みにより社員の安全意識向上と安全対策・改善ができています」と高評価となりました。操業7年、このタイミングでの安全診断は大変良い機会だったのではないのでしょうか。今後一層の取り組みを期待したいと思います。



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

Ⅲ 名古屋港周辺の防災インフラ情報(木防プロジェクト)

飛鳥村の防災インフラ情報

1. ハザードマップ・避難情報

- ・飛鳥村公式ホームページにて、洪水浸水想定区域図・高潮浸水想定区域図・減災ハンドブック（PDF）などを公開中。
- ・防災アプリ・防災メール・Xで、避難情報や災害情報をリアルタイム配信中。

2. 避難施設と防災設備

- ・公民館分館、飛鳥村梅之郷一時避難所などが、複数の災害に対応可能な避難場所として指定。

3. 防災計画とコミュニティ連携

- ・災害対策基本法に基づいて、飛鳥村地域防災計画を策

定し、各機関の役割を明確化。

- ・防災ボランティアコーディネーター養成講座など、住民参加型のネットワーク強化に取り組んでいる。

4. 電力供給と災害時対応

- ・停電時にスマートフォンなどを充電できる施設との協定を整備（ワタナベビレッジ（飛鳥村元起））。

5. 地形・防災背景

- ・飛鳥村は海拔ゼロメートル地帯が多く、標高4～8mの海岸堤防を整備。
- ・南海トラフ地震や局所豪雨への備えとして、ハードとソフト両面から対応中。

弥富市の防災インフラ情報

1. ハザードマップ・避難情報

- ・弥富市では、洪水・高潮・津波などのリスクに応じたハザードマップを公開。
- ・避難所・緊急時避難場所・非常持出品の情報も整備。
- ・最新の避難情報は「Yahoo!防災アプリ」などで確認可能。

2. 防災インフラの整備状況

- 東名阪自動車道弥富ICの活用
- ・中日本高速道路株式会社名古屋支社と協定を締結し、緊急時の避難施設を整備中(令和8年度中に完成予定)

■ 孫宝排水機場の避難活用

- ・屋上等を緊急時避難場所として活用。
- ・地元要望を受け、避難階段などを整備。

3. 地域強靱化と耐震対策

- ・地域強靱化計画により、以下のインフラを対象に整備中
- ・排水機場・海岸堤防・農業用水利施設
- ・緊急輸送道路・橋梁の耐震補強
- ・水門などの耐震化

名古屋港の防災インフラ情報

1. 防災情報の発信

- ・名古屋港管理組合公式ホームページで防災情報を掲載。
- ・所在市村の防災ガイドブックやハザードマップ（英語版含む）への外部リンク。

2. 防災施設の整備状況

- ・津波・高潮に備え、高潮防波堤・防潮壁・防潮扉・通船門及び防潮水門を整備。

3. 津波対策・訓練実施

- ・南海トラフ地震を想定した地震・津波避難誘導訓練を定期実施。

4. 港湾インフラの耐震強化

- ・飛鳥ふ頭・鍋田ふ頭等に耐震強化岸壁、震災時の緊急

物資輸送等に対応。

- ・老朽化対策と長寿命化計画に基づき維持管理を推進。

5. BCP・機能継続体制の構築

- ・港湾機能継続計画（BCP）を策定。
- ・燃料・資機材の確保や通信手段の多重化、緊急輸送道路の確保により、港の機能の早期回復を図る。

6. 情報共有・人材育成・デジタル活用

- ・防災情報の発信体制を整備し、情報共有を図る。
- ・防災教育・啓発活動（地震体験車、職員訓練など）を実施。
- ・ドローンや港内カメラによる被害把握の迅速化を図る。

インフラ・ライフラインなど復旧に必要な情報の提供

愛知県

各市町村や関係機関から収集した被害情報や県の災害対応・支援策について、県のホームページや各報道機関を通じて県民に提供します。

関係各機関

各機関ごとに被害情報や復旧に向けた対応を、各機関のホームページ等を通じて県民に情報提供を行います。

■ 防災・震災後の被害等全般の情報について

愛知県防災局： <https://www.saigai.pref.aichi.jp/> 地域の情報は各市町村のホームページを参照

■ 道路関係情報について

(財)日本道路交通情報センター： <https://www.jartic.or.jp/index.html>

中部地方整備局： https://www.cbr.mlit.mlit.go.jp/tsukou/t_top.html

愛知県警察： <https://www.pref.aichi.jp/police/safety/saigai/index.html>

■ ライフライン等情報について

(株)西日本電信電話： <https://www.ntt-west.co.jp/>

中部電力： <https://www.chuden.co.jp/index.html>

東邦ガス： <https://www.tohogas.co.jp/>

その他交通機関や鉄道各社はホームページにおいて運行状況を告知予定

◆ 自遊ご異見番 ◆

「広報委員を振り返って」

名古屋の広報委員に携わらせて頂きまして20年となります。ここを節目と致しまして、この度、退任させて頂くことになりました。

月に一度、社外の委員の皆様と誌面の校正を通して色々な話を聞かせて頂いたことは、刺激になることも多く大変勉強になりました。楽しい時間を共有させて頂きましてありがとうございました。

広報委員としてスタートした当初は、1年半ぐらいに1度、広報誌への記事担当のご指名を頂きますが、日頃の行動範囲の狭さ、教養や文章力の無さから、「何を書いたらいいのか」と題材が見つからずいつも悩んでおりました。先日、広報委員として最初に書いたであろう「自由ご異見番」を見つけました。その時期に話題となっている情報に木材に関連付けられるネタが無いのか、あれこれ悩んだ末に「地球温暖化」について書かせて頂きました。今夏も、過去の記録を更新する酷暑となっておりますが、20年前よりも地表の温度や海水温が上昇し、さらに温暖化は深刻さを増しております。森林にも影響が及んでおりますことが未来に向けての心配事です。

いつも題材に悩んでおりましたが、7～8年前からウォーキングが趣味となり、「大人の遠足」と称して、各地を歩いて回るようになりました。何か少しでもお役に立てる情報が発信出来ればと、その楽しさを題材に誌面をお借りしてお伝えさせて頂くようになりました。この地方にも、メジャーな観光地だけではなく、全く知らなかった秘境の渓谷や絶景の滝、歴史を刻み続ける森林、厳かな空気が漂う社寺など、季節ごとに変わる景色に新しい発見があります。こうした豊かな自然や歴史遺産を大切に守り続けなければと訪れる先々で感じます。

広報委員として、木材ジャーナルの誌面づくりを通して、皆様からの文書を読ませて頂き、今まで知り得なかった情報や体験談などを校正させて頂くにつれて、当初より、ほんの少し行動範囲が広がり、教養も身につく、文章力も上がったかなと思っております。この誌面から皆様の仕事や生活のヒントとして、少しでもお役に立てるような読み物となりましたら幸いに存じます。

広報委員の皆様と出会い、お力添えを頂きながら仲間の一員として、木材ジャーナルづくりに携われたことに感謝申し上げます。長きにわたり、ありがとうございました。

◆ 合縁木縁 ◆

「十姉妹について」

皆さんは十姉妹という小鳥をご存知でしょうか。ペットとして飼われる小鳥ですが、セキセイインコや文鳥のようにメジャーな鳥ではないため、知らない方も多いかと思います。

私の実家では二十年以上十姉妹を飼っていますが、地味な割には、なかなか奥が深い鳥なので、今回は十姉妹の紹介記事にしたいと思います。

十姉妹は、元々コシジロキンパラというインド原産の鳥を、江戸時代に観賞用として日本に持ち込み、改良されてできた小鳥です。「十姉妹」という名前は、複数羽で飼育していてもケンカが少なく、兄弟や姉妹同士が仲良く生活している様子から、この名前がつけられました。群れでいることを好む小鳥なので、多頭飼いに向いています。また、十姉妹は子育てが上手な小鳥です。その子育てが上手いため、子育てが苦手な他の小鳥の代わりに雛を育てる「仮母」として扱われる事もあります。

十姉妹の一番の魅力は他の鳥と比べ、色柄が豊富な事です。色の派手さはないので、映えはしませんが、長年観賞用として改良飼育されてきたため、さまざまなバリエーションがあります。

色柄の種類では、並十姉妹(黒、白、茶色が混ざった体色)・小斑十姉妹(白ベースで背中に茶色の模様あり)・月十姉妹(全身が白色で頭頂部に円形模様)・一本槍十姉妹(全身が白く尾羽の真ん中に色がついているもの)など。他にも模様によって、一文字、時雨傘、更紗、京美人など日本らしい名前が付けられています。

色に加えて毛並も種類があり、巻毛(寝癖のような毛並)のあるものと無いものに分けられます。巻き毛のないものは“ノーマル十姉妹”、巻き毛のあるものは“芸物十姉妹”と呼ばれます。芸物には5種類のパターンがあり、梵天(頭頂部に巻毛)、千代田(胸部に巻毛)、中納言(頭頂部・後頸部に巻毛)、大納言(胸・頭・首に巻毛)、キング→獅子とも呼ばれます。(ほぼ全身が巻毛)があります。また、最近では日本の十姉妹がヨーロッパに渡って、ヨーロッパ十姉妹という種類もあるそうです。

十姉妹の楽しみ方はこれらの種類を掛け合わせて、より綺麗な美しい色柄の鳥を育てる事です。また錦鯉のように、それらをお披露目して競い合う品評会があるそうです。皆さんもペットショップなどで見かけた際は気にして見てください。一見地味な鳥ですが、実は奥が深く歴史のある鳥です。

次回は、株式会社ナゴヤ辻文 河井慶太氏にお願いいたします。

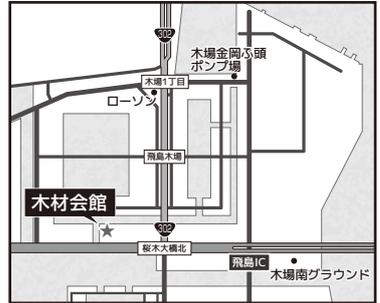
株式会社 名古屋港木材会館 会議室のご案内

駐車場完備で様々な用途に必要な時間だけご利用いただける多目的レンタルスペースです。
会議はもちろん、研修、説明会、試験会場、面接会場などにもご利用いただけます。



| 会議室 | 面積 72㎡ | 収容人数 40人 | 午前(9:00~12:00) | 午後(13:00~16:00) |
|-----|-----------|-------------|----------------|-----------------|
| | | | 2,000円 | 2,000円 |

- ※注意事項 (1) 会議室使用については会員又は会員の紹介に限ります。
 (2) 土曜、日曜、祝祭日は休館日です。(年末年始・お盆はお問い合わせ下さい)
 (3) 時間延長の場合は割増料金をいただきます。
 (4) 備品等の持ち込みも事前にご連絡いただければ可能です。



お問合せ先・お申込先 愛知県海部郡飛島村木場1丁目74番地(名古屋港木材会館内)
名古屋港木材産業協同組合 TEL 0567-57-2017

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

自動車盗が激増！ランクル被害多発！

愛知県内における自動車盗被害は、令和7年上半期で639件(前年比+214件)と前年を大きく上回る被害状況で、中でもランクルの被害が多発しています。対策として、フェンスや防犯カメラの設置等による駐車場対策のほか、メーカーおすすめの“マイカー始動ロック”等を活用し、複数の組み合わせによる防犯対策をしましょう。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

Technology for Clean Air & Bulk Handling

INOUE

集塵装置の省電力・安全
木質バイオマスの利活用

ご提案します!!

快適な環境づくりに取り組む
井上電設株式会社 〒460-0022 名古屋市中区金山4丁目3-17
052-322-5271 https://www.inoue-d.co.jp

7.7

家族の心まで温めたいから、
みたいに

リビングバスルーム

快適空間としての機能や
使い勝手は当然揃えながら、
「いいね」や「サプライズ」が詰まった
心まで満たせるバスルームが誕生

Instagram QR code

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部伸一
 〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会